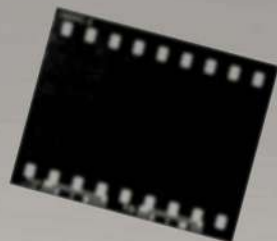


PLAN 75



上映会・トークイベント 2022年12月23日(金)

映画「PLAN 75」の上映と早川千絵監督をお招きした
トークイベントを開催します。

*上映会は対面のみ、トークセッションは
対面・Zoomウェビナーで行います。
手話通訳・文字通訳あり

プログラム

- 14:30-16:30 「PLAN 75」上映
(対面会場のみ)
- 16:30-16:45 休憩
- 16:45-18:00 トークセッション
(対面会場およびZoomウェビナー)
- 18:00 閉幕

登壇者

早川千絵監督

大谷いづみ(産業社会学部教授・生存学研究所副所長)

齋藤真緒(産業社会学部教授)

司会:川端美季(生存学研究所特別招聘准教授)

会場 立命館大学衣笠キャンパス以学館IG102・Zoomウェビナー

トークセッションは対面・Zoomの両方で開催

参加費無料・要事前申込

(要事前申込) →



立命館大学衣笠キャンパスへのアクセス



立命館大学衣笠キャンパスマップ



主催:立命館大学生存学研究所

共催:立命館大学人間科学研究所、産業社会学部、先端総合学術研究科

本イベントは、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C 19K00023、基盤研究A 21H04406、立命館大学ガラスルーツイノベーションプログラム(2022)、立命館大学生存学研究所重点プログラム(2022)、立命館大学人間科学研究所重点プログラム(2022)の研究助成を受けています。

お問い合わせ: seizongakukikaku@gmail.com

(生存学研究所オンライン運営事務局)



第75回

カンヌ国際映画祭「ある視点」部門 正式出品

PLAN 75

それは、75歳から自らの生死を選択できる制度



倍賞千恵子

磯村勇斗 たかお鷹 河合優実 ステファニー・アリアン 大方斐紗子 串田和美

脚本・監督:早川千絵

脚本協力:Jason Gray

エグゼクティブプロデューサー:小西啓介 水野孫子 桐實博史 石根裕之 Frédéric Corves Willirido C. Manalang
プロデューサー:水野孫子 Jason Gray Frédéric Corves Maita Savinien コプロデューサー:Alomberg Ang ラインプロデューサー:古賀幸一郎
撮影:鎌田寿徳 照明:雲谷真馬 録音:日舟 勝 美術:塩川節子 スタイル:岡本華菜子ヘアメイク:宮内三千代
音楽:Rémi Douhal サウンドデザイン:Philippe Grisel 編集:Anne Klotz キャスティング:黒田久美子 時監督:辻藤有希 制作担当:金子繁太郎
製作:ハピネット・ファンタム・スタジオ ロード・フィルムズ 観中倶楽部 WOWOW Urban Factory Fusee 企画・制作:ロード・フィルムズ 制作協力:プロダクションSSSエフ
配給:宣伝:ハピネット・ファンタム・スタジオ 文化庁 文化芸術振興費補助金(国際共同制作映画) ©2022「PLAN 75」製作委員会/Urban Factory/Fusee
2022年/日本・フランス・フィリピン・カタール/日本館・タガログ語/カラー/アメリカンビスタ/5.1ch./112分

<https://happinet-phantom.com/plan75/> @PLAN75movie

〈プラン75〉に翻弄される人々が、最後に見出した答えとは――

果たして、是か、非か

75歳以上が自らの生死を選択できる〈プラン75〉。

この架空の制度を媒介に、「生きる」という究極のテーマを
全世代に問いかける衝撃作が誕生した。

生きて
いる
ことが
罪
ですか？

少子高齢化が一層進んだ近い将来の日本。満75歳から生死の選択権を与える制度〈プラン75〉が国会で可決・施行された。様々な物議を醸していたが、超高齢化問題の解決策として、世間はすっかり受け入れムードとなる。

夫と死別してひとりで慎ましく暮らす、角谷ミチ(倍賞千恵子)は78歳。ある日、高齢を理由にホテルの客室清掃の仕事我突然解雇される。住む場所をも失いそうになった彼女は〈プラン75〉の申請を検討し始める。一方、市役所の〈プラン75〉の申請窓口で働くヒロム(磯村勇斗)、死を選んだお年寄りに“その日”が来る直前までサポートするコールセンタースタッフの瑠子(河合優実)は、このシステムの存在に疑問を抱いていく……。

物語の中心となるミチに、9年ぶりの主演作となる名優・倍賞千恵子。「最初はひどい話だと思ったけれど、ある選択をするミチに心惹かれ、出演を即決した」という。セリフで多くを語るのではなく、目や手の動きだけで哀しみや恐れなどの感情を繊細に表現した。若い世代のヒロムと瑠子を『ヤクザと家族 The Family』の磯村勇斗、『由宇子の天秤』の河合優実が演じ、たかお鷹やステファニー・アリアン、大方斐紗子、串田和美らが顔を揃える。

監督・脚本は、本作が長編初監督作品ながら、2022年カンヌ国際映画祭「ある視点」部門に正式出品の快挙を成し遂げた、早川千絵。年齢による命の線引きというセンセーショナルなモチーフを打ち出しつつ、細やかな演出で、この世界を懸命に生きる人々を丁寧に描いた。2025年には国民の5人に1人が75歳以上になると言われる日本で、ここに映し出される状況は決して絵空事と言い切れない。他者への不寛容さ、痛みに対する想像力の欠如といった世の中への危機感とともに、命の尊さを静かに、そして強く訴える。

第75回 カンヌ国際映画祭
「ある視点」部門 正式出品

PLAN 75

倍賞千恵子

磯村勇斗 たかお鷹 河合優実 ステファニー・アリアン 大方斐紗子 串田和美

脚本・監督:早川千絵 脚本協力:Jason Gray

企画・制作:ロード・フィルムズ 製作:ハビネットファントム・スタジオ ロード・フィルムズ 純中倶楽部 WOWOW Urban Factory Fusee

配給・宣伝:ハビネットファントム・スタジオ 文化庁 文化芸術振興費補助金(国際共同製作映画)

©2022『PLAN 75』製作委員会/Urban Factory/Fusee 2022年/日本・フランス・フィリピン・カタール/日本語・タガログ語/カラー/アメリカンセクタ/5.1ch/112分

<https://happinet-phantom.com/plan75/> @PLAN75movie



第75回カンヌ映画祭カメラドール賞・スペシャルメンション受賞
第95回米国アカデミー賞国際長編映画部門日本出品作品

©2022 『PLAN 75』 製作委員会/Urban Factory/Fusee